

北海道から得られたコウモリ寄生性ノミの記録

佐藤雅彦¹⁾・高橋 守²⁾

¹⁾ 〒 097-0311 北海道利尻郡利尻町仙法志字本町 利尻町立博物館

²⁾ 〒 350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38 埼玉医科大学麻酔科

Records of Bat Fleas from Hokkaido

Masahiko SATO¹⁾ and Mamoru TAKAHASHI²⁾

¹⁾ Rishiri Town Museum, Senhoshi, Rishiri Is., Hokkaido, 097-0311 Japan

²⁾ Department of Anesthesiology, Saitama Medical University,
38 Morohongo, Moroyama-machi, Iruma-gun, Saitama, 350-0495 Japan

Abstract. Three bat flea species, *Ischnopsyllus indicus*, *I. needhami* and *I. obscurus*, and one unidentified female of the genus *Myodopsylla* are recorded from Hokkaido. This is the first report of bat fleas from *Myotis ikonnikovi*, *M. glacialis* and *Vespertilio murinus* in Japan.

北海道産コウモリから得られる外部寄生性昆虫としては、クモバエ科（双翅目）、トコジラミ科（半翅目）、コウモリノミ科（陰翅目）の記録がある（Satô & Mogi, 2008; 佐藤, 2012; Sakaguti & Jameson, 1962; 浅川ほか, 2003）。コウモリノミ科についてはクモバエ科ほど頻りに寄主から採取されることがないため、北海道内における分布や寄主についての情報は未解明の部分はまだ多く残されていると思われる。本稿では、筆者らの調査や利尻町立博物館に寄贈されたサンプルより得られたコウモリ寄生性ノミ 10 個体について、その同定結果を地域ごとに報告する。

同定にあたり、サンプルを KOH 処理した後、アルコール脱水して封入標本とし、微分干渉顕微鏡（Nikon エクリプス E600）にて各部の特徴を観察した。種名保留の 1 個体を除き、全ての標本は利尻町立博物館で保存し、記述してある標本番号（RTMebb）は利尻町立博物館鳥獣寄生性生物コレクションの登録番号を示す。

なお、標本の寄贈や取得については、近藤憲久さん（根室市歴史と自然の資料館）、向山満さん（コウモリの保護を考える会）、小林知也さん（岩手大学農学部）、河合久仁子さん（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター）、中岡利泰さん（えりも町郷土資料館・水産の館）にご協力をいただいた。心からお礼申し上げます。

（1）利尻町杓形

寄主：ヒメホオヒゲコウモリ *Myotis ikonnikovi* ♀ A

採集年月日：2012.vii.14

採集者：佐藤雅彦

同定結果：*Ischnopsyllus indicus* 2 ♀♀

登録番号：RTMebb1478-1479

利尻島からは 5 種のコウモリが記録されているが（前田・佐藤, 1995）、同島におけるコウモリノミ科の記録はこれまでなかった。同定されたノミ（図 1）は、カスミ網による捕獲調査で得られたコウモリの体表上から軍手に移動し、発見された個体で

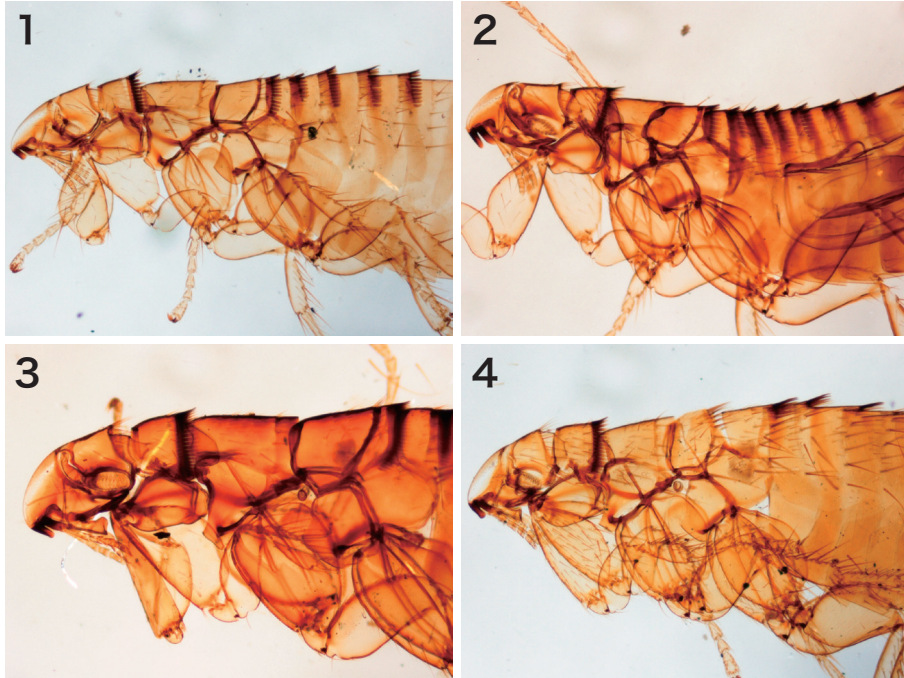


図1-4. 北海道産コウモリから得られたノミ。1, *Ischnopsyllus indicus* ♀; 2, *I. needhami* ♂; 3, *I. obscurus* ♂; 4, *Myodopsylla* sp. ♀.

あった。

(2) えりも町目黒

寄主：ヒナコウモリ *Vespertilio sinensis* ♀ A

採集年月日：2013.iv.8

採集者：中岡利泰・佐藤雅彦

同定結果：*Ischnopsyllus needhami* 2 ♀ ♀

登録番号：RTMebb1480-1481

本サンプルは、廃校となった小学校からヒナコウモリの死体が2013年4月に拾われ、その際にそのコウモリから採取されたものである。

(3) 大空町大成

寄主：ヒメヒナコウモリ *Vespertilio murinus*

採集年月日：2012.vii.7

採集者：佐藤雅彦・佐藤里恵・村山良子

同定結果：*Ischnopsyllus needhami* 1 ♂ 3 ♀ ♀

登録番号：RTMebb1484-1487

ヒメヒナコウモリは2002年に礼文島において国内では初めて確認され (Satô & Maeda, 2004), その後、羽幌、千歳、青森で少数個体が見つかった後 (Kawai *et al.*, 2010), 2011年には大空町にて繁殖コロニーが発見された (近藤ほか, 2012)。大空町のコロニーは体育館にあり、スズメの営巣も同じ建物内に多数確認されている場所であった。本サンプル (図2) は、調査のために捕獲されたヒメヒナコウモリ十数個体から得られたもので、比較的高い頻度でノミが各個体から検出されたが、大空町以外の国内で発見されたヒメヒナコウモリから外部寄生性昆虫が見つかった例は報告されていない。また、本調査時においてもノミ以外のクモバエ科などの外部寄生性昆虫は見当たらなかった。国内のヒメヒナコウモリにおける外部寄生虫としては本種が初めての確認になるものと思われる。

(4) 音更町駒場

寄主：ホオヒゲコウモリ *Myotis glacialis* ♀ A

採集年月日：2008.vii.13

採集者：河合久仁子

同定結果：*Ischnopsyllus obscurus* 1 ♂,

Myodopsylla sp. 1 ♀

登録番号：RTMebb1003 (*I. obscurus*)

I. obscurus (図3) はヨーロッパ, ソビエト, 中国に分布し, 宿主は *V. murinus*, *V. superans* などで, 日本では網走支庁女満別町で捕獲された *V. superans* から記録されている (大野, 1965). またコウモリノミ科 *Ischnopsyllidae* の *Myodopsylla* 属の1個体(♀)が種名はともかく, 本邦初記録として得られた (図4). この約30年間, 構成種の追加を見なかった日本産ノミ類に本種を加えたことになる. 本属には, これまで世界で12種が報告されており (Rewis, 1978; Mendez & Lemke, 1979), 今回, 新たに採集された種の異同については, 今後詳細に検討したい.

参考文献

- 浅川満彦・的場洋平・木村朗子・佐々木尚子, 2003. 野幌森林公園における寄生虫相の研究—コテングコウモリ編. *野幌研究* (2): 28-30.
- Kawai, K., D. Fukui, M. Satō, M. Harada & K. Maeda. 2010. *Vespertilio murinus* Linnaeus, 1758 confirmed in Japan from morphology and mitochondrial DNA. *Acta Chiropterologica*, 12(2): 463-470.
- 近藤憲久・福井大・倉野翔史・黒澤春樹, 2012. 北海道網走郡大空町で確認されたヒメヒナコウモリの出産哺育コロニー. *哺乳類科学*, 52(1): 63-70.
- 前田喜四雄・佐藤雅彦, 1995. 利尻島におけるコウモリ類の分布. *利尻研究*, (15): 45-48.
- Mendez, M. & T. O. Lemke, 1979. Description of a new species of bat flea from Colombia (Siphonaptera: Ischnopsyllidae). *Proceedings of the Entomological Society of Washington*, 81: 657-662.
- 大野善右衛門, 1965. 邦産蚤類に関する知見補遺(6). 北海道産蝙蝠蚤4種について. *衛生動物*, 16: 99-103.
- Rewis, R. E., 1978. A new species of *Myodopsylla* Jordan and Rothschild 1911, from northern United States, with a key to the genus (Siphonaptera: Ischnopsyllidae). *Journal of Parasitology*, 64: 524-527.
- Sakaguti, K. & E. W. Jameson, 1962. The Siphonaptera of Japan. *Pacific Insects Monograph*, 3: 1-169.
- 佐藤雅彦, 2012. 北海道におけるコウモリ寄生性トコジラミ. *森林保護*, (328): 28-31.
- Satō, M. & K. Maeda. 2004. First Record of *Vespertilio murinus* Linnaeus, 1758 (Vespertilionidae, Chiroptera) from Japan. *Bulletin of the Asian Bat Research Institute*, (3): 10-14.
- Satō M. & M. Mogi, 2008. Records of Some Blood-Sucking Flies from Birds and Bats of Japan (Diptera: Hippoboscidae, Nycteribiidae and Streblidae). *Rishiri Studies*, (27): 41-48.